

薬科学専攻博士前期課程

- 1) 特論科目として、研究倫理観を育成し、薬学領域における実践的英語力を含めた基礎的素養の涵養を図るとともに、幅広い学識を培うために、専門領域横断的な基礎的科目を設定している。
- 2) 1年次後期からは研究活動に重点をおき、課題研究を進めるなかで、公開セミナー、演習などによりプレゼンテーション能力、討論能力などの向上を目指し、さらには修士学位論文作成により研究者としての基盤的能力を養う。
- 3) 課題研究は、創薬科学系、分析薬科学系、生命薬科学系、病態薬科学系、医療薬科学系、統合薬科学系及び附属施設に属する研究室による薬学の幅広い分野で指導体制を整えている。
- 4) 研究室において、各自の研究課題に関する報告・討論、英文雑誌の論文紹介、輪読会などを行うことにより、研究能力の育成、研究マインドの養成、プレゼンテーション能力、討論能力及び英語力の強化を行う。これらセミナー、研究報告会などについては、演習として必修化(4単位)している。
- 5) 公開セミナー(必修2単位)は、2年次の夏季休暇中に研究科全研究室合同で開催し、各自が作成した「総説」に基づき発表と質疑応答を行うことにより、プレゼンテーション能力、討論能力及び論文作成能力の向上を目指す。